



DAMANHUR  
ダマヌール日本ニューズレター

ほほろ

POPOLO



春号

《第36号》

発行 ダマヌール日本

発行日 2015年3月9日

<http://damanhur.jp>

# 聖なる森 植物の神殿

## 意識を持つ存在・植物との協働のために



くるみの木のサーキット

アルプスを背景にした山麓の村に存在するコミュニティー・ダマヌール。活力ある森として保全された聖なる森を初めて日本人のグループが訪れたのは十数年前のこと。その時期でしか目にするのでできなかったと思われる森の姿を今も忘れることができません。季節は秋から冬への変り目。秋の深まる森に、みぞれに変わるかと思われる冷たい雨が木の葉を洗い落とすかのように降り注いでいました。私たちは寒く冷たい一日を山の上の森の中の丸太小屋で過ごすのかと、気分はやや減入っていましたが、そんな気持ちを自然の美しさが吹き飛ばしてくれました。

森に入った時には全く気づかなかったのですが、小屋から一歩外に出てみると雨に濡れた落ち葉や木々は色合いを増して、地面も枝も一面、金色に輝いていました。谷をはさんだ数メートル先の山肌を見ると、既に雪がうっすらと積もっていましたが、こちらは美しい金の森…冬はアルプスから降りて来て、もう足元まで迫っているのに、自分たちは温室に入っているような、不思議かつ神聖な気分になりました。

ダマヌールが育ててきた森は、「樹木は意識を持ち人間と協働する存在である」と尊重して甦らせたものです。そこには森の再生を目指すコミュニティーがあり、人生をゲームになぞらえ、市民全員が参加する戦いやサバイバルなど、数々の取り組みが行われてきました。現在この森は「聖なる森の“神殿”」となって、人類と自然との協働に向けて更にパワーアップしています。

# 人類の神殿につながった植物の神殿をめぐる

聖なる森には、ティン、オニドーブ、ソルジェンテという名前の3つのコミュニティーがあり、森と植物の神殿を維持・管理しています。地面の上に描かれた、ある種の図形（螺旋や迷路）のことを、ダマヌールではサーキットと呼んでいます。聖なる森の中には彩色した石を置いて描かれた、いくつものサーキットが広がっています。サーキットはシンクロニックラインから得られるエネルギーで活性化され、それぞれに異なった機能を持っています。何キロにもわたって広がる森の中のサーキットは整備が進められ、地下にある人類の神殿につながり、人類の神殿と同じ機能を持つ「植物の神殿」となっています。森を訪ねた体験記を中心に、サーキットによって広がる「植物の神殿」をご紹介します。

## サーキットの与える作用

ダマヌールでは植物の神殿以外にもサーキットが複数あります。春分や冬至などの儀式をはじめ、様々な研究や探求、グループや個人の成長、セミナーのサポートなど多様な場面でサーキットを使います。サーキットは生きたエネルギーが宿っていますから、使う人とのエネルギーの交流によって相互に作用をもたらします。たとえば自己の内面との対話のために質問を持ってサーキットを歩くと、直感が広がり答えが返ってくるというような特徴があります。使う人の思いの深さや熱意に応じて答えが得られるのです。

サーキットには様々な機能があり、感覚を広げる、創造性を広げる、インスピレーションを得る、精神性をもたらす、グループの仕事や調整、自分の内面の成長をもたらす、自分の大切な選択を助ける、ヒーリング、夢、探求など目的に応じた使い方ができます。サーキットが持っているフリークエンス（波長）は、人体にあるマイクロラインというサトルなエネルギーの分布に作用をもたらし、様々なサポートを与えます。

サーキットは自然林をそのままに活かして、入り口近くや中にある樹々はアンテナとなり、サーキット内のエネルギーを作用させる役割を担っています。特に植物の神殿のサーキットは、それぞれの機能に加えて植物の世界のエネルギーや、自然の精霊たちとのエネルギーの交流もできるようになっています。

## 森に描かれたサーキットを歩き インスピレーションを得る

車で山道を登り、コミュニティーのひとつティンのゲート前で下車すると、青空を背景にアルプスの山々は白い雪



カラーセラピーを行うコミュニティ

をかぶり、冬の凜とした空気の中で思わず身が引き締まります。

### 夢にあらわれた樹からのメッセージ

私は数年前にサーキットを歩いた時の体験を思い出しました。サーキットを歩いた翌朝夢を見ました。

サーキットの中で私がとても親しみを感じた一本の樹が語りかけてきたのです。その時、一緒にダマヌールを訪問していた仲間が怪我をしていました。私の夢は、その彼の傷に関するものでした。その樹は私にいったのです。

「今日、出かける前にAさんのステイロセルフを使って彼にヒーリングをするといいですよ。大丈夫です。あなたはできますよ」

わたしは温かい気持ちで目覚めました。朝食の後、私はそのメッセージを仲間に伝え、初めてステイロセルフを使ってヒーリングにとりかかりました。ステイロセルフをどう使ったらいいかは自然にまかせました。

とても不思議なことに、ヒーリングを始めると、見ている

間に深く切れていた傷の周りの組織が盛り上がり、傷が浅く小さくなっていきました。しばらくすると「もうこれでいい」…と感じました。応急処置は十分できたという満足感と、私にメッセージをくれた樹とサーキットの素晴らしさにあらためて驚き感謝しました。

## 浄化の雨にうたれて

忘れられないある日の体験です。その日私たちは、お天気もよく聖なる森のサーキットを歩けると、うきうきしながら森へと向かいました。ダマヌール滞在の数日目ということもあって、少々気が抜けていたのかもしれませんが、集合場所の確認を怠ったのが始まりで、ちょっとした行き違いがあって、インストラクターや担当のダマヌール市民にも大変な迷惑をかける事態となりました。

その後なんとか予定通りサーキットを歩くことができたのですが、私たちが順番にサーキットに入って歩き出すと、どうしたことでしょう！晴天だったはずが一天にわかにかき曇り、大粒の雨がぽつぽつ降り出し、見る間にバケツをひっくり返したような土砂降りになりました。雷鳴がとどろき、滝のような雨になりました。合羽を着ても心身を冷たく濡らす雨。まるでその時の私たちの心の緩みを見透かされたようで、反省しきりでした。それでも何とか気をとりなおしてサーキットの中心に立ち止まり、呼吸を整えて目をつぶると、心の中に「落ち着いて、落ち着いて…」と声が聞こえ、この雨が全てを浄化してくれたように感じました。この森には、いつも不思議な体験をさせてくれるサーキットが広がっています。

### 悩みを解決する糸口を見つける

オニドーブのコミュニティーの旗が風にたなびき、遠くに雪をかぶった山々が見える高台に、植物の絵が描かれたコミュニティーの建物があります。ここにも大きな「オニドーブのサーキット」がありました。サーキットの主要な入り口そばにクルミの木があり、大小5つの螺旋と迷路で全てが繋がっています。私たちは、このサーキットを歩きました。

まず、インストラクターから説明を受け、森の全てのサーキットにアクセスする鍵となるペンタクルを借りました。そして、サーキットでは境界線に沿って歩くか、線が途切れたところを歩き、境界をまたいで越えてはいけません。間違っていると機能が失われるので、再活性化するまで外で待つ必要があるという注意を受けました。セルフは付けていても問題ありませんが、その他の金属は外して、サーキットにつながった専用のペンタクルを持って入ります。入り口は同じですが、友人と3人で入る時間をずらして歩き始めました。一人一人が思い思いに歩くので、みな違う方向へと進みました。

私は小さな悩みを持っていたので、質問をしながら歩きました。右奥まで行きたかったけれど、歩いていると反対方向に進んだりして、迷路は思わぬ場所へと誘います。一本道の螺旋と思っても、進んでみると一本道ではなかったりして、出ようと意識をしないと上手く他の場所に出られません。サーキットの中では時間の感覚が短く感じたり長く感じたりしました。

質問にはいくつかの答えが浮かび上がりました。12月なのにサーキット内にタンポポの花が咲いているのを見たときは、思わず笑顔になりました。質問の答えは、そうだろうな…と思うものと新しいアイデアにも出会いました。だんだんと気持ちが楽しく元気になってきました。小一時間ほど



歩いたでしょうか。他の友人はまだ歩いていましたが、私は十分に堪能したのでサーキットの出口から出て、景色を見ながらベンチに座って余韻を楽しみ、すっかりポジティブになっていきました。心配することはない…。同行した友人とベンチに座って体験を語り、貴重なひと時を過ごしました。友人はこのサーキットを歩くのは3回目だけれど、毎回体験が異なっている。今回は遊び心で色々なことに取り組むことで、様々な問題も乗り越えることができるということを示唆されたそうです。

そして、森を覆うようなサーキットづくりがどれ程大変だったのかを思いました。樹々の手入れの仕事に加え、石を運び、並べ彩色し、機能を持たせる…気の遠くなるような作業を、ダマヌールの人たちは朝に昼に夜にしたのだと心が熱くなりました。

### 清浄なクリスタルのサーキット

一般公開が制限されていた、最も新しいクリスタルのサーキットを歩く機会に恵まれました。夜になっていましたが、懐中電灯で足元を照らしながら歩くと、黒いネットが張られた場所に着きました。2000年代の初め、森を買い足して低木や灌木を取り払って整備された場所に、クリスタルのサーキットがあります。まだ建設途中でしたが、特別に希望者に公開していたのです。

入り口に案内され、ゆっくりとクリスタルのサーキットを歩きました。サーキットを進みながらクリスタルの純粋な清らかさの中にいました。清らかさは体中に染み渡って私も清く浄化され、幸せな8分間でした。宝石やクリスタルとはあまり縁がない生活をしているのですが、清らかさはこういうものだという感覚が残りました。

このサーキットに今後は屋根が付けられ、完成すれば希望する誰もが歩くことができるそうです。より進化した機能を持つサーキットをまた訪れる機会が楽しみです。ダマヌールは常に進歩をしていて、人類の進化にとって限りない可能性を秘めていると感じました。

植物の神殿は、動植物や精霊や他のサトルな存在との調和的な関係に加えて、人間の精神性が高かった時代のように植物の世界と人間との調和的な関係を取り戻しつつあるようです。

みなさんも、ぜひこの聖なる森を訪問してサーキットを歩いてみてください。予期せぬ発見があなたを待っていることでしょう。

## 木を活性化して森を甦らせさせる

過去何十年もの間、暖房の薪を採取するためだけに使われていた栗の森を、ダマヌール市民たちは徐々に買いあげ、枝を払い、下草を刈って光が入るようにし、害虫の蔓延を防ぎ、多くの植物種を再び導入して健全な広い森へと環境を整備していきました。

ダマヌールの哲学では、森はマジックな場所であり、多くの動物や植物、またサトルな存在の生命の複雑さが調和的に表現される場所です。

訪問記に紹介されたように、聖なる森の神殿には、木々とその土地の自然の精霊たちとのコンタクトや瞑想に捧げられた場所が存在します。サーキットの一つ一つは異なった機能を持ちますが、すべてはシンクロニックラインの交差するエネルギーの結び目のある、人類の神殿へとつながっています。また「らせん」は人類と協働する、次元を超えた宇宙的な存在につながり、未知の体験への可能性も開いてくれます。新たなインスピレーションを得る体験はそこから生まれるのかもしれない。



サーキットは森の中や木々の周りに何キロにもわたって広がっています。聖なる森の神殿は、同じ山の中に掘られた人類の神殿の拡張部分であり、2つの場所を結びつけるエネルギーの繋がりによって

も、森の木々は神殿の屋外アンテナの役割を持っています。

この森では、ダマヌール市民を個々の変容へと引き立てるサバイバルの実験や、植物の世界の繊細さに関する研究など、この場所に生き生きとした密度の濃い歴史をもたらす数多くの実験や研究が行われてきました。

## 日本での木の活性化 全国で進行中

植物の世界と人間世界を再びつなげ、調和を取り戻すため、日本でも国内の木々の活性化を進めています。

現在、日本での活性化本数は約17万本。また300年以上の巨木の活性化は、南は屋久島の縄文杉から北は北海道まで約4,200本となっています。

木の活性化は、2011年からスタートしたダマヌールが提案するプロジェクトで、ダマヌール市民だけではなく世界各地の多くの友人たちも参加しています。そのほとんどはダマヌールの精神的民族・ポポロに参加しています。日本でも友人たちが参加をしていますので、興味のある方はお尋ねください。

ダマヌールの哲学では、動植物や自然の精霊によって代表されるサトルな存在とのコンタクトを重視しています。かつて人間の世界と植物たちの世界はひとつにつながっていました。人間による自然環境破壊など、関係性や尊厳を無視した危機的状況を脱して、この二つの世界の間を再び近づけるという目的を持つのが木の活性化です。

木々は私たちの地球に生きている大きなアンテナとなっていて、宇宙に私たちの地球の人間と自然の営みの状態について発信をします。ダマヌール市民と、この企画を支えるすべての人たちの熱意により、自然との調和的關係が回復し、木々とのネットワークをつくっています。

セルフとは一体何なのですか？と、よくセミナーなどで聞かれます。セルフとは、古代文明で用いられたサトルなエネルギーを引き寄せて方向づける高度な知識です。ダマヌールの研究者により、古代からの知識を更に進化をさせたものです。私たちの宇宙の基本的な幾何学である「らせん」を使って、知的なサトル（微妙な）エネルギーを方向づけて作用させることで、私たちの健康や感覚の拡大など、人間が内に秘めた役立つ機能の発達を助けてくれます。

セルフについての案内は、ダマヌール日本のホームページからも見ることができます。

<http://www.damanhur.jp>

## ダマヌール クラシックセルフ



### 免疫のセルフのご紹介

今年も花粉が舞う季節がやってきました。大陸からの大気汚染物質の影響も心配です。この時期は生活の変化にともなう疲労感をお持ちの方もあられるでしょう。季節の変わり目は思わぬ気候の変化

で身体も冷えて、風邪をひきやすく抵抗力も低下しますよね。もちろん感染予防には、うがいや手洗いは基本ですが、その他の予防として、身体を温め、睡眠を十分に取る食生活にも気をつけたいところです。

今回紹介するダマヌールの免疫のセルフも、人体エネルギーの観点から、免疫機能を助けるためにお勧めします。季節の変わり目の疲労や、時差の影響にも役立ちますので、是非この機会にお試しください。

## わたしとダマヌールの出会い フェニーチェ・フェルチェとの邂逅

平成10年の年初めにA社から届いた郵便物の中に、フェニーチェ・フェルチェの紹介、セミナーの案内文が入っていた。大きな顔写真入りで、手にとって見ている内に引き込まれていく。世間広しといえどもこんな凄いエネルギーを持った人はそんなにいない。案内を見て早速セミナーに申し込む。

東京、当時の社会党会館、着いてみると会場はほぼ満席。フェニーチェが登場する。場内は明るいオーラに包まれて行く。彼が話し始めると暖かなエネルギーが波打ってくる。とても良い気持ちだ。会えてよかったと満足感に包まれてほっとする。終わって、またぜひお会いしたいと思ったけれど、日常の忙しさに忘れてしまう。案内状は大切に私の机の中に入れておいたので、たまには彼の写真を見て、ほっとしていた。

京都でのアストラトラベルのセミナー案内を見つけた。早速申し込む。前年秋に妻を亡くし気落ちしていた時だけに、しっかりしてよと、妻からのプレゼントかなとも思えた。セミナーの時には、少しでも彼の近くに座りたいので早めに会場に着くが、幸い少人数でのセミナーなので安心する。セミナーが始まり、フェニーチェのゆったりした語り引き込まれていく。流れてくる繊細なエネルギーは体内に入り始めると自分自身と同化し始め、体が暖かくなり眠くさえる。彼の誘導によりアストラに

挑戦。上手くいくという思いが出てきた瞬間、京都市内のお寺に自分が立つ。嬉しい—フェニーチェからの注意にあったように人とぶつからないように避ける。次に動物達にのる練習、京都市内に散歩している小型犬ブルドックかなにかに入る。入ってびっくり、顔、目、体全体が同化し、せわしくなく、犬は大変だなと思いつつ戻ってくる。あとで思い返すと、力まず疑わずに誘導に乗れたせいだ。

京都が御縁でセミナー情報を送ってもらい、予定を調整してはフェニーチェに会いに行く。彼の凄さは全てを包んでしまう。度量の広さ、深さ、優しさ。

その内にフェニーチェが師と仰ぐファルコに会いたくなり、平成17年春のダマヌール現地体験セミナーを申し込む。イタリア、トリノ郊外のダマヌールに着いて、何か懐かしさを感じ、初めての知らない異国の土地という思いはなく不思議な所へ来たという感想。市民は皆優しく、旧知の間柄のような雰囲気さえ醸し出している。人類の神殿に案内される。フェニーチェの自慢げな説明に納得。神殿の偉大さ、素晴らしさに只感動する。ファルコにお会いできる、信じられない偉大なお方にびっくりする。沢山のことを教わり、人生に於いて最高の師、二人に会えて、私は果報者です。ありがとうございます。

(60代 男性)

## ダマヌール・トピックス

### 日本統合医療学会でプラノセラピーの 効果について発表

横浜で開催された第18回日本統合医療学会（2014年12月20日）で、プラノセラピーの効果について発表しました。プラノセラピーについて医療系の学会で発表するのは初めてでした。私たちが行なったアンケートや3年間の症例の経過から、プラノセラピーの効果は身体症状だけでなく感情・精神面にまでおよび、まさに人間の生き方そのものにポジティブに作用することが明瞭だったと発表しました。今回の発表は、プラノセラピーが日本における代替補完医療の一つとして認知されるための第一歩になったのではないかと思います。次回の発表では、症例を増やすとともに、今回とは異なるアプローチでもプラノセラピーの効果を探求し、より多くの人に認知してもらう必要があると思っています。

### メルマガ配信中 シンクロニックホロスコープが好評！

セミナー最新情報や体験記など、さまざまな話題をお届けしているメールマガジン。週に一度更新されるホロスコープも、不思議な共時性の深いメッセージが好評です。現在、メールアドレスの登録を更新していただいています。お済みでない方はぜひダマヌール日本のホームページよりご登録ください。

<http://www.damanhur.jp/>

フェニーチェ・フェルチェによる個人セッション受付中です  
ダマヌール日本へのメールまたはファクシミリにてお申し込みください。

### 個人セッション体験記

人生をより楽しみ、軽快に、そして深く生きたいと望んでいる私は、仕事や将来についてどう行動したらよいか悩んでいた時期があり、個人リーディングを受けることにしました。

これまで受講した、ダマヌールのスピリチュアル物理学やアストラトラベルのセミナーで熱く語るフェニーチェさんの姿は印象的で、知らなかった知識を得ると同時に、何か自分も変わることができるのではないだろうか！と元氣や勇気をもらっていました。ダマヌールの見方ではどのようなアドバイスがもらえるのか、解決の糸口をつかむための期待と、何がでてくるのかという不安とを持ちながら臨みました。

そして悩みを解消するとは、根本的には周囲との関係性を改善することだと気づかされました。個人の精神的な進化とは何か、実現するには何が必要なのかと自問し続けている自分に、自分自身だけでなく、周囲の人や環境に目を向ける必要があることを示唆され、この先に必要な自分と社会の姿を想定することができて、明日へ向かう強い勇気を受け取りました。近視眼的になっていた自分の姿勢をただし、周りを冷静に見て行動するように気持ちをソフトしてくれました。

(40代 女性)

# ダマヌールのコミック「時へのチェックメイト」より (14)

協力者に神殿を見せることに…

① 1時間後

なんという一週間…明日海辺で過ごすのが待ち遠しいわ…

いやだわ…誰が今頃電話してきたの？

ほんの数分でまったく十分です！ダマヌールの神殿についての話はまだ聞きましたね、あなたが知らないことは…

ああ、アルチェ(ヘラジカ)、はいはい、ダマヌールのことは覚えてるわ…その変わった名前であいにくあなたと話せるのはほんの数分だけなの…

…要するにかいつまんで言うと、署名は集まりましたが、僕たちに手を買ってくれる人が必要なんです、というの…

助けて、このまま続いたら食前酒が飲めないわ…

…あなたの助力を求めようと思っただんです。コミュニケーションのエキスパートだから…

なに！もうテイナーにも間に合わないわ！

すばらしいそれじゃ同じ意見ですね。明日の朝ダマヌールでお待ちしています。

OH. NO!!!

すぐに受け入れてくれてありがとう。僕たちは急いで数分で片づけましたからね！では明日！

ふーっ、でも彼はどうやって私に「はい」と言わせたの？

② 次の日の朝

まあ…歓迎委員会まで…

なんとカントリーフォークのスタイル!

そうね、少なくともこのアルチェ(ヘラジカ)は想像していたよりかわいいわね。

うまく始めよう…

コンテ、僕がアルチェです。昨日はちよつとつごからごめんね。でもそれでもう全部で有名なので直接神殿に行くことができます。

チャオ…えーつと、コンテ、オーケー、行きましょう。

こちらはチコーニャです。彼女があなたを案内します。僕はこれから見るとかあなたを案内すると確信しています。

うーん…もし私の人生を変えたいなら急がなきゃだめよ。運と2時間後にはここを出て海に行きたいんだから。

神殿訪問のあと…

すごく感動したわ。本当にダマヌールには特別なものがあるの。あなたたちのような人が存在するなんて思ってもなかった…この熱意、この献身、この美しさすべて！

…海なんてどうでもいいわ!

すぐに仕事に取り掛かりましょう!世界はこの作品のことを知るべきよ。これは扱われるべきよ。最初にすべきことは議員会の中から支持者を見つけることね。

上出来だよ、チコーニャ。

上出来ね、アルチェ。

③ トリノ。文学者で芸術評論家、すばらしい著名人であり、さらに国会議員であり文化財次官でもあるヴィンチェンゾ・スグラーツィ氏の新聞プレゼンテーションで…

スグラーツィ議員! はーい…

絶対にこれをご覧になるべきです…

失礼…すみません…道を開けて…

ダマヌールの神殿よ。

ああ、その話は聞いたことがある…かなり並外れた作品だと。

ここからほんの40分です。ご自身で見に行かれますか？

でも…そう…多分…行けたら…いすれにせよ、今晚かな…明日は再び出発だ。今晚ね、申し分ないわ!

オーケー、テイナーのあとでホテルにきたまえ。

グランドホテル、23時

24時

1時

2時

3時

いいえ、スグラーツィ議員はまだ戻られていません。お望みならホールでお待ちいただけますが。

やあ、君たち、まだいたのか?!

テイナーのあとでしよう? 行きましょう?

よからう。準備はできてよ。

…この神殿が本当に言われているように並外れたものなのかなど見てみよう。

④ そんなわけで、しばらくして…

結論として、同僚の議員の皆さん、いささか独創的なスタイルではあっても、比較にならない作品であり、イタリアの名を高める…

作者が生きている芸術作品であり、保護するだけの価値がある…

すべて期待したとおりね。ほら、国会からスグラーツィの生中継よ。

そして我々はたっぷり10万以上の署名を集めた。まもなくテレビの特別番組が放映されるだろう。

我が国の伝統と文化と比べて…

…10分後にはここダマヌールで私たちの記者会見が始まるわ。

行きましょう、コホルド。皆さん、あとでね。

がんばって!

今日からニュースが世界を巡るだろう。

でも何人が私たちに支持するかわからない…ジャーナリストたちがなんと言うか…

かまわないよ。言葉よりもイメージが語るだろう。

ではこのビデオ映像は神殿を救うのに役立つだけでなく、他の人たちに私たちがやったことをやるように意識を与えるかもしれないわ。

そうだ。今は評議会に知らせるしかない。我々は彼らの次元でも支持を確認しなければならぬ。

記者会見が行われて…